

# 西高30選 図書目録



- ①過去3年間の推薦書150冊の中から、個人の好みに合う30冊を選び、読破しましょう。  
・シリーズものは、何冊読んでも1冊とカウントします。  
・今年度の対象は2020～2022年度の作品です(過去のリストは図書館にあります)。
- ②選んだ本について、感想を裏面のコメント欄にしっかり記入してください。
- ③30冊読破してコメント欄記入も済んだ場合は、この用紙を図書館に提出してください。
- ④30選達成者には、年度末に表彰の上、副賞(図書カード)が授与されます。

岡山ゆかりの著者	1	とんび(重松清) 息子が生まれ、家族三人の幸せを感じていたある日、突然の悲劇で妻を失う。時に暴走し、時に時に途方に暮れる2人。魂が震える、父と息子の物語。2022年映画化。	青春	13	妖怪アパートの幽雅な日常(香月日輪) 主人公が成長していくところがかっこいい。2巻まで読めば一気に面白くなります。(図書委員推薦)	ミステリー	25	天久鷹央の推理カルテ(知念実希人) 事件の裏に隠された病を、天才女医が解き明かす本格的な医療ミステリーです。ミステリー小説好きにおすすです！全5巻。(図書委員推薦)	歴史	37	夜と霧(V.E.フランクル) アウシュビッツ強制収容所から生還した心理学者の手記。嫌なことがあったときに読み返すと、なぜか心が静まります。(教員推薦)
	2	宇宙を生きる(磯部洋明) 岡山で育った気鋭の宇宙物理学者が、宇宙に関する研究と絡めながら「学問とは何であるか」という問いに迫ります。進路選択に迷っている人、ぜひ手にしてください。(教員推薦)		14	ふたご(藤崎彩織) 主人公と友人の冷たくも愛のある会話が魅力です。心情表現が繊細で新しい世界を知ることができると思います。(図書委員推薦)		26	物語のおわり(湊かなえ) 一つ一つの物語が、全部繋がる。何度でも読み返したくなるような伏線たっぷりのストーリー。(図書委員推薦)		38	なぜ世界を知るべきなのか(池上彰) 世界は「あなたと違う視点」であふれている。池上彰が伝える、世界を読み解くための学び方。
	3	標本バカ(川田伸一郎) 国立科学博物館に勤務する著者が、知られざる標本収集の日常を綴る。著者は岡山県出身。一話ごとに添えられているイラストも秀逸。		15	また同じ夢を見ていた(住野よる) 一人の賢い女の子が小学校での出来事や色々な人との出会いから成長していく物語です。人生とはなにかなど奥深いことを登場人物たちの発言から考えさせられます。(図書委員推薦)		27	二十四の瞳(壺井栄) 新米の女性教師、大石先生と12人のこどもたちが瀬戸内海の小さな村でくりひろげる人情あふれる不朽の名作。(図書委員推薦)		39	読書する人だけがたどり着ける場所(齋藤孝) 「ネットでいいじゃん」と思っている人にこそ読み、考えてほしい。なぜ、いま本を読むのか。思考力や知識を深める読書のヒント。
感動	4	食堂かたつむり(小川糸) 美味しい食事とそれにまつわる素敵なストーリーに心暖まります。(図書委員推薦)	恋	16	夜のピクニック(恩田陸) 生徒がそれぞれに思いを乗せて歩く、「歩行祭」をテーマに描かれた長編青春小説。歩を進める中でそれぞれの「事情」が絡み合っていく様がとても面白かったです。(図書委員推薦)	その他(小説)	28	名のないシジャ(山田悠介) 分厚いけど面白いからすぐ読めます。普段、あまり本を読まない人にもおすすめ！(図書委員推薦)	理系	41	東大メンタル「ドラゴン桜」に学ぶやりたくないことでも結果を出す技術(西岡孝誠・中山芳一) 「頭が良くなるようなメンタル」＝「やり抜く力」。マインドを変え、地頭力が上がる4つの非認知能力を学ぶ。岡大准教授の中山氏は「今未来手帳」を監修しています。
	5	君を愛したひとりの僕へ(乙野四方字) 設定がとてよく、愛した一人を救おうとしている健気な姿が描かれていて心打たれます。(図書委員推薦)		17	陽だまりの彼女(越谷オサム) 10年ぶりに再会した幼馴染には、僕には計り知れない過去があった。誰かを好きになる瞬間が詰まった恋愛小説。		29	残像に口紅を(筒井康隆) 世界から言葉が消えていく。「あ」が消えると「愛」も「あなた」もなくなった。次々と言葉が消えていく世界を描く、テレビ番組でも大反響となった驚愕の実験小説。		42	13歳から分かる!7つの習慣(「7つの習慣」編集部) 世界中でベストセラーのビジネス書「7つの習慣」入門編。夢を実現させるために実践したい習慣を学ぼう。
	6	ツナグ(辻村深月) 感動するお話です。読み進めるごとにどんどん作品の世界に引き込まれていくような本です。ぜひ多くの人に読んでほしい。続編あります。(図書委員推薦)		18	ぼくは明日、昨日のきみとデートする(七月隆文) 文章が美しく、甘酸っぱくてキュンとするラブストーリーです。とても感動します。読めば読むほど面白い作品です。(図書委員推薦)		30	三国志(吉川英治) 群雄割拠する動乱の時代に、我こそは天下の覇者とならんとする英雄たち。星のごとく輝く登場人物たちによって彩られた壮大な物語をぜひ一度体験してみてください。(教員推薦)		43	ダチョウはアホだが役に立つ(塚本康浩) 実はダチョウはすごかった！ダチョウを好きすぎて情熱を注ぎこみ、ついにダチョウから新型コロナの抗体精製まで！好きなことを追求し続けたドタバタ科学エッセイ。
生きる・悩み	7	手紙屋 蛍雪編(喜多川泰) 手紙屋との10通のやり取りが心に響く。卒業までには読んで欲しい必読書。	ミステリー	19	桜のような僕の恋人(宇山佳佑) 夢を追う恋人同士に降りかかった運命。大切な人を想い続ける、珠玉の恋愛小説。	現代社会	31	暗黒女子(秋吉理香子) 闇鍋と共に行われる朗読、女子ならではの暗い話にゾッとする一冊です。(図書委員推薦)	その他	44	解きたく数学(佐藤雅彦・他) ひと目で問題の意味がわかる。ひと目で問題を解きたくなる。それがこの本でやりたいこと。著者の言葉に納得！開けば誰もが解きたくなる。
	8	まだ見ぬ春も、君のとなりで笑っていたい(汐見夏衛) 恋や進路に悩む主人公の話で、この本を読んで少しでも自分に自信を持ってもらえたらいいと思います。(図書委員推薦)		20	交換ウソ日記(櫻いよいよ) 告白から始まった交換日記は、ある一つのウソを秘めていた。シリーズ第3弾まであります。		32	ファクトフルネス(ハンス・ロスリング他) 思い込みやフェイク・ニュースに惑わされがちな私たちに、事実に基づいて「世界を見る」ことの大切さを教えてくれる一冊。(教員推薦)		45	生物はなぜ死ぬのか(小林武彦) 生物学の観点から見た「死」の意味とは。そもそも生物はなぜ死ぬのかを考える、現代人のための生物学入門。
	9	獣の奏者(上橋菜穂子) 主人公が周りの人から様々なことを学んで成長していきます。全4巻＋外伝。(図書委員推薦)		21	ボトルネック(米澤穂信) パラレルワールド系のお話だけど現実味がすごく、ずっと背中がゾクゾクします。(図書委員推薦)		33	「日本」ってどんな国?(本田由紀) 学校、友達、仕事など、7つのテーマを取り上げ、様々な統計データによって「日本のいま」を提示し、私たちがどのように考え実践していくべきかを解説。(教員推薦)		46	センス・オブ・ワンダー(レイチェル・カーソン) 環境問題に警鐘を鳴らした「沈黙の春」の作者の遺作。姪の息子・ロジャーと自然の中で過ごす様子が、美しく詩情豊かに文章で綴られています。(教員推薦)
10	52ヘルツのクジラたち(町田そのこ) 2021年本屋大賞受賞作にして、西高図書館の貸出し1位。孤独ゆえに愛を欲し、裏切られてきた2人が出会い、紡ぎだす魂の物語。	22	葉桜の季節に君を想うということ(歌野晶午) 何でも屋の元探偵が、とある依頼から運命の出会いを果たす。読後、二度読みがしたくなるミステリーの定番。	34	武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方(宮田律) アフガニスタンで多くの命を救った医師、中村哲。平和な世界を作るには何が必要か、考えるきっかけにしてほしい一冊。	47	愛×数学×短歌(横山明日希) 「きみと解く習ったばかりの漸化式 だんだん好きになればいいのに」愛と数学は共通点だらけ？ちょっぴり切なくて、でも美しい数学短歌短編集。(図書委員推薦)				
11	そして、バトンは渡された(瀬尾まいこ) 私には5人の親がいる。血の繋がらない親の間をリレーされ、名字は4回変わったが、彼女はいつも愛されていた。身近な人が愛おしくなる感動作。	23	ナイルに死す(アガサ・クリスティー) 美貌の資産家のハネムーンは、ナイル河の豪華客船上で暗転した。突然轟く銃声は、嫉妬に狂った凶行かと思われたが、事件は意外な展開を見せる。2022年映画化。	35	親の期待に応えなくていい(鴻上尚史) 日本独特の「同質性」「世間」を鋭い切り口で、ユーモラスに説明し、自分らしく生きるためのメッセージを伝える一冊。読めば目から鱗間違いなし。	48	あの夏の正解(早見和真) パンデミックに翻弄された2020年。「甲子園のない夏」に退部の意思を打ち明ける3年生、心の内を吐露する監督。元高校球児の著者が向き合う、あの夏の物語。				
12	死にたがりの君に贈る物語(綾崎隼) この物語が、救いになる。人気シリーズの完結目前で突然告げられた著者の訃報。そこから始まる、山中の廃屋で起こる事件。二度読み必至の痛切な物語。(図書委員推薦)	24	オーダーは探偵に(近江泉美) 就活に励む女子大生の美久とDS高校生悠貴が喫茶店『エメラルド』を舞台に事件の解決に挑む。巻数を重ねるに連れ、謎解きも、二人の関係も面白くなっていきます。(図書委員推薦)	36	世界でいちばん幸せな男 101歳、アウシュビッツ生存者が語る美しい人生の見つけ方(エディ・ジェイク) アウシュビッツ強制収容所に収監され、家族を殺される壮絶な体験をした著者。彼が人生で見つけたのは、希望だった。でーれーBOOKS2022大賞。	49	傘のさし方がわからない(岸田奈美) グラグラ笑えて、ときにしんみり。車いすユーザーの母、ダウン症の弟、作家の私の岸田家。すっごく面白い文章を読んで、なんだか元気になるおすすめの一冊。				